

外国語活動学習指導案

1 単元名 “Alphabet” オリジナルアルファベットチャートを作ろう！ (Let's Try! 2 Unit 6)

2 単元目標

- ・活字体の小文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる。

【知識及び技能】

- ・文字の形に注目して作った文字カードについて、実物を見せながら、発表し合うことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

- ・積極的に文字の形に注目して文字カードを作り、今までの学習を生かして紹介しようとしている。

【学びに向かう力・人間力等】

3 単元について

本単元は、小学校学習指導要領解説外国語活動第2英語の目標（1）聞くこと（ウ）「文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。」に重点を置いて活動を行う。本単元は、活字体の小文字の名称を表す読み方を聞いて、「読み方」と「文字」を一致できるようにすることをねらいとしている。小文字にほぼ初めて触れる段階であることから、児童が文字に対して興味・関心を高められるように、身の回りに英語の文字がたくさんあることに気付かせたり、さまざまな活動を通して楽しみながら無理なく文字に慣れ親ませたりすることを大切にして、学習を進めていきたい。

本学級の児童はこれまで、活字体について、第3学年の“ALPHABET”の単元で、大文字に慣れ親しんでいる。体を使って文字を表す活動、アルファベットカルタを使った活動、友達とやり取りをしてアルファベットのカードを集めて日直カードを作る活動等に取り組んできた。また、そのカードを用いて自己紹介することなどを経験している。

本単元で、児童は国語科の「ローマ字」の学習時以来、久しぶりに活字体の小文字にふれることとなる。無理なく文字に親しみ、興味・関心が高まるように多様な活動を経験させながら、達成感をもてるような手立てを講じていきたい。そのために、「オリジナルアルファベットチャート」を作るという活動を単元のゴールとして設定する。「アルファベットチャート」とは、**a**から**z**まで順に並べられた表のことで、模造紙大のポスターに、**a**から**z**の文字カードを並べて掲示する。文字カードは児童が分担して作成する。文字カードを作るときには、それぞれの文字の形や特徴に注目させるようにして、その文字が何に見えるかを想像して絵を描き加える。手作りのアルファベットチャートに、児童は愛着をもつだろう。また、そのカードはポスターから取り外して黒板に貼るなどして使用することができる。本単元の学習以降も毎日文字に触れ、外国語活動の時間以外にも活用することを想定している。また、“**alpha-beasties**”の絵本を活用して読み聞かせをしたり、児童とやりとりをしながら話を一緒に語ったりする活動を毎時間帯活動として取り入れることで、楽しみながら文字に慣れ親しめるようにしたい。

本時では、第3時に作成した「文字カード」を、友達に紹介する活動をメインとして行う。それぞれの児童が想像した文字カードの絵が何に見えるかをクイズ形式にして発表させることで、自分が作った文字カードはもちろんそれ以外の文字の形や読み方にも注目することができるだろう。絵本の再話活動は、声に出しながら文字の音や形に触れる機会となるため、本時の活動のよい足掛かりとなると期待できる。

本校の外国語活動の研究主題は「『わかる』『伝わる』楽しさを実感し、外国語を使って主体的に表現する児童の育成」としている。「できるようになったこと」「次にできるようにしたいこと」などを意識させ、見通しをもって学習できるようにすること、そして児童が主体的に表現できるような題材となるように工夫すること等について、昨年度より継続して研究している。本単元の指導においても、1枚で単元の学習の見通しがもてるような学習カードを用いて毎時間フィードバックを行い、児童が主体的に学びに向かうことができるように支援していきたい。

4 児童の実態

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・活字体の小文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かっている。	・文字の形に注目して作った文字カードについて、実物を見せながら、発表し合っている。	・積極的に文字の形に注目して文字カードを作り、今までの学習を生かして紹介しようとしている。

6 指導と評価の計画

時	学習内容	知識・技能	思考・判断 ・表現	主体的に学習に 取り組む態度
1	○英語の絵本 "alphabeasties" の読み聞かせ	○これは何かな ○どこにあるかな ○Let's Watch and Think	・身の回りには活字体の小文字で表されているものがあることに気付いている。	・積極的に文字の形に注目して文字カードを作り、今までの学習を生かして紹介しようとしている。
2	○Let's Sing ○Let's Chant ○アルファベットカルタを使ったゲーム	○Let's Play 1	・活字体の小文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かる技能を身に付けている。	

3	○英語の絵本 "alphabeasties" を一緒に語る活動	○Let's Listen ○Activity 1 ○文字カードを作ろう		・活字体の小文字の形に注目して、何に見えるか想像し文字カードに表している。
4 (本時)	○Let's Sing ○Let's Chant ○アルファベットカルタを使ったゲーム	○何に見えるかな? ○文字カードを紹介しよう		・自分が作った文字カードについて、実物を見せながら、発表し合っている。

7 本単元で扱う表現・語彙

表現 This is ~. It's ~. Do you have ~? Yes, I do. / No, I don't. I have ~.

語彙 小文字 (a~z) a~z で始まる動物の名詞 色、形、大きさ、場所などを表す英語

8 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・自分が作った文字カードについて、実物を見せながら、発表し合うことができる。

【思考力・判断力・表現力等】

(2) 本時の展開 (4 / 4)

T: 指導者 S: 児童 Ss: 児童全員

過程	学習活動と内容	教師の指導・支援 ◎評価の観点
挨拶 (2)	1 挨拶をする。 T: Good afternoon. How are you? Ss: I'm good. T: How is the weather? Ss: It's sunny.	・全体であいさつさせた後、個別に何人かに調子を尋ねる。 ・既習の内容についていくつか質問し、英語を学習する雰囲気をつくる。
復習 (15)	2 絵本"alphabeasties"を一緒に語る。 3 【Let's Chant】 Alphabet Chant	・児童とやり取りをしながら絵本を読む。 ・絵本を読みながら、できるところは一緒に発音するよう児童に促す。 ・表のアルファベットを指しながら一緒に歌う。

	<p>4 アルファベットカードを使ったゲームをする。</p> <p>○カルタ取りゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童は指導者が話すアルファベットの文字の名前を聞いて、自分の机上にあるカードを取る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ c と s、n と m など、発音をヒントに選択肢を絞れたり、発音が紛らわしくて分かりにくかったりする文字等を、意図的に選ぶ。 ・ 指導者用の大きなカードを見せ、音と文字が確実に一致できるようにする。 ・ 文字の形に注目できるように助言する。
<p>展開 (23)</p>	<p>5 何に見えるかな？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者の出すクイズに答える。 <p>T: Hello. This is "a".</p> <p><i>It's red.</i></p> <p><i>It's delicious.</i></p> <p><i>It's a fruit.</i></p> <p>What's this?</p> <p>S: It's an apple!</p> <p>T: That's right. It's an apple.</p>	<p>自分で作った文字カードを友達に紹介しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者のクイズが、この後児童が話す内容のデモンストレーションとなるようにする。 ・ 何問か出題し、クイズの形式に慣れさせる。 ・ ヒントに使いそうなカテゴリーを板書に示し、児童がヒントを考える際の手助けとなるようにする。 <p>(カテゴリーの例) 色、形、大きさ、場所など</p>
	<p>6 自分の文字カードを紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第3時に作成した文字カードを見せながら、クイズ形式で紹介する。 ・ 上記5の言い方を参考にする。斜字体の部分のようなヒントを加えられそうなら、板書の語彙を参考に加える。 ・ まずはグループ内で発表を行い、その後全体での発表とする。 <p>7 【Let's Sing】 ABC Song</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自担当した文字カードを模造紙に取り付け、アルファベットチャートを完成させる。 ・ 完成させたチャートを活用して、歌を歌う。 ・ 立ったり、座ったりしながら歌う。 <p>T: What color do you like?</p> <p>S: I like blue.</p> <p>T: Let's stand up when you sing blue cards.</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ できるだけ英語を使ってクイズを出すようにさせるが、難しい部分や答えの名詞などは日本語でもよいことを伝える。 ・ カードのデザインがよく見えるように、大型テレビに映す。 ・ 文字の形に注目するよう助言する。 ・ まずグループ内で発表させることにより、全員が紹介できる機会を作る。 <p>◎自分が作った文字カードについて、実物を見せながら、発表し合っている。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元のゴールとなる活動であることを意識させ、一人一人の力を合わせて完成させたことを称賛する。 ・ 表のアルファベットを指しながら一緒に歌う。 ・ 文字カードの枠には色で縁取りしておき、その色をもとに立ったり座ったりしながら歌うようにさせる。

<p>振り返り (4) 挨拶 (1)</p>	<p>8 振り返り ○振り返りカードを書き、発表する。</p> <p>9 挨拶をする。</p> <p>T: <i>That's all for today.</i> <i>Goodbye.</i></p> <p>Ss: <i>Goodbye. See you.</i></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時は単元の終わりの授業なので、本時を通してできるようになったこと、単元を通してできるようになったことの両方の観点から振り返りをさせる。 ・今日の学習で、児童のよかったところをほめる。
------------------------------------	--	--

9 市教研英語部会 研究テーマとの関連

令和3年度のテーマ

「主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図る資質・能力の育成」

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現するための指導と評価の工夫

(2) 小中の接続、学びの「つながり」を意識した授業改善

(1) 主体的・対話的で深い学びを実現するための指導と評価の工夫 について

○単元のゴールを魅力的なものにすること【主体的な学び】

…アルファベットチャートを作る

○単元のゴールに至るまでの、英語に慣れ親しむ活動の充実を図ること

…絵本や、アルファベットカルタを使った活動

○交流して学ぶ活動の充実を図ること【対話的な学び】

…アルファベットのカードを作り、それを使ってクイズを行って紹介する

(2) 小中の接続、学びの「つながり」を意識した授業改善 について

○文字（リタラシー）の指導

3年（大文字）、4年（小文字） 文字を認識し、聞いてどの文字か分かる

5年（大文字／小文字の書き、アルファベットの「音」について 等）

6年（頭韻や脚韻などの知識、文・語順について、音声で慣れ親しんだ短い文を読むこと 等）

↓

リタラシーに関わるこれらの能力を小学校段階できちんと身に付けておくことは、中学校の学習に無理なく取り組むための大切なステップになると考える。【小中の接続】

○学習カードの活用

- ・単元で1枚の学習カードを使用し、「何ができるようになったか」「次がんばりたいこと」を記入させた。単元を通して学びの自己調整を図りながら学習を進めることができるように促した。また、指導者がフィードバックを行うことで、意欲面の向上を図ったり、各児童の学びの様子を把握し適切に評価したりすることができた。【学びのつながり】

○日常的に外国語にふれられるようにする工夫

- ・完成した「アルファベットチャート」を教室内に掲示して随時活用することで、日常的に外国語にふれられるように工夫した。児童が作った「アルファベットカード」は裏面にマグネットが貼ってあるため、日直の表示や、他教科の学習の際に黒板に貼るなどして活用することができた。また、学年が上がっても引き継いでいくことで、再び文字の指導を行う際に活用していくことができる。【学びのつながり】